



ジャイアント・カンチレバークレーン [2015年7月 世界文化遺産登録]

平成 27 年度 **中間報告書**
(第1四半期・第2四半期)

証券コード 7011

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成27年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 大宮英明

取締役社長 宮永俊一

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の成長率は減速傾向が続きアジア地域全体で弱さがみられた一方で、欧州では強くないですが成長ペースを維持し、米国でも回復が続き、世界全体としては緩やかに回復しました。また、我が国経済は一部に鈍い動きもみられましたが、企業収益や雇用情勢の改善、個人消費や設備投資の持ち直しの動き等があり、緩やかな回復基調が続きました。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆7,844億円、売上高は1兆8,820億円、営業利益は1,159億円、経常利益は1,118億円、税金等調整前四半期純利益は790億円となりました。また、税金等調整後の親会社株主に帰属する四半期純利益は433億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成27年10月30日の取締役会の決議により、1株につき6円の配当とし、平成27年12月3日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益】

	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)	平成27年度 第2四半期累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)	増減額
受注高	17,641億円	17,844億円	+202億円
売上高	17,591億円	18,820億円	+1,229億円
営業利益	1,182億円	1,159億円	△22億円
経常利益	1,279億円	1,118億円	△160億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	380億円	433億円	+53億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

部門別の概況

受注高 17,844 億円



	(H26-2Q累計)	(H27-2Q累計)
■ エネルギー・環境	6,507億円	6,119億円
■ 交通・輸送	3,793億円	2,923億円
■ 防衛・宇宙	656億円	1,438億円
■ 機械・設備システム	6,374億円	7,163億円
■ その他	955億円	922億円
消去または共通	△ 646億円	△ 724億円

■ エネルギー・環境

大型案件を受注した化学プラントが増加した一方、前年同期に複数の新設プラントの受注があったコンベンショナルが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

■ 交通・輸送

前年同期に大型受注のあったMRJや交通システムが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

■ 防衛・宇宙

防衛が増加し、前年同期を上回った。

■ 機械・設備システム

製鉄機械・フォークリフトの事業統合効果や従来事業（ターボチャージャ・冷熱等）の規模拡大により前年同期を上回った。

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

売上高 18,820 億円



	(H26-2Q累計)	(H27-2Q累計)
■ エネルギー・環境	6,831億円	6,811億円
■ 交通・輸送	2,425億円	2,800億円
■ 防衛・宇宙	1,746億円	2,050億円
■ 機械・設備システム	6,337億円	6,898億円
■ その他	708億円	905億円
消去または共通	△ 458億円	△ 646億円

■ エネルギー・環境

化学プラント等が増収となった一方、火力発電プラント等の減収により、前年同期を下回った。

■ 交通・輸送

円安効果のあった民間航空機を中心に増加し、前年同期を上回った。

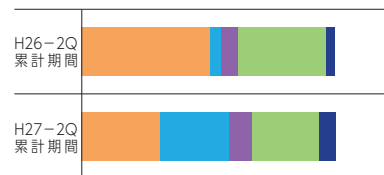
■ 防衛・宇宙

艦艇等、防衛を中心に増加し、前年同期を上回った。

■ 機械・設備システム

製鉄機械・フォークリフトの事業統合効果や従来事業（ターボチャージャ・冷熱等）の規模拡大により前年同期を上回った。

営業利益 1,159 億円



	(H26-2Q累計)	(H27-2Q累計)
■ エネルギー・環境	618億円	377億円
■ 交通・輸送	54億円	330億円
■ 防衛・宇宙	81億円	114億円
■ 機械・設備システム	423億円	322億円
■ その他	46億円	82億円
消去または共通	△ 42億円	△ 66億円

■ エネルギー・環境

一部のガスタービンコンバインドサイクル用蒸気タービンの不具合対策費用の計上や、火力事業のPMIを進める上での先行費用を掛けていることなどにより、前年同期を下回った。

■ 交通・輸送

民間航空機のコスト改善や商船の船種ミックス改善等に加えて、円安効果もあり前年同期を上回った。

■ 防衛・宇宙

防衛等の増収に伴い、前年同期を上回った。

■ 機械・設備システム

前年同期に在外グループ会社決算期変更があった影響等により、前年同期を下回った。

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

	平成26年度末 (平成27年3月31日現在)	平成27年度 第2四半期末 (平成27年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	35,520	35,040
現金預金	3,674	3,261
売上債権	12,912	11,237
たな卸資産	13,248	14,444
繰延税金資産	1,509	1,529
その他流動資産	4,175	4,567
固定資産	19,683	19,598
有形固定資産	9,547	9,509
無形固定資産	2,415	2,263
投資その他の資産	7,720	7,825
投資有価証券	5,834	5,668
繰延税金資産	154	118
その他	1,730	2,039
資産合計	55,203	54,638

(平成26年度末) (平成27年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 19,628億円 19,722億円

	平成26年度末 (平成27年3月31日現在)	平成27年度 第2四半期末 (平成27年9月30日現在)
負債及び純資産の部		
流動負債	24,292	24,144
買入債務	8,692	7,778
短期借入金	2,327	3,819
前受金	6,631	6,344
その他流動負債	6,640	6,203
固定負債	9,711	9,446
社債	2,450	2,450
長期借入金	4,028	3,772
繰延税金負債	1,055	905
その他固定負債	2,177	2,317
負債合計	34,003	33,591
株主資本	16,126	16,364
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,040	2,041
利益剰余金	11,482	11,717
自己株式	△ 52	△ 50
その他の包括利益累計額	1,681	1,257
その他有価証券評価差額金	814	617
繰延ヘッジ損益	8	△ 5
為替換算調整勘定	684	447
退職給付に係る調整累計額	173	198
新株予約権	31	28
非支配株主持分	3,361	3,396
純資産合計	21,200	21,047
負債及び純資産合計	55,203	54,638

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	平成27年度 第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	17,591	18,820
営業費用	16,408	17,660
営業利益	1,182	1,159
営業外収益	270	178
営業外費用	173	219
経常利益	1,279	1,118
特別利益	—	42
特別損失	398	370
税金等調整前四半期純利益	881	790
法人税等	335	309
四半期純利益	545	480
非支配株主に帰属する四半期純利益	165	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	380	433

(平成26年度第2四半期累計期間) (平成27年度第2四半期累計期間)

(注) 1株当たり四半期純利益 11円33銭 12円92銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)	平成27年度 第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	59	△ 271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,004	△ 869
財務活動によるキャッシュ・フロー	49	886
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△ 152
現金及び現金同等物の増減額	△ 831	△ 406
現金及び現金同等物の期首残高	3,707	3,573
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	4
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 108	△ 15
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,767	3,155

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

● 会社の概要

■ 概要

社名 三菱重工業株式会社
本社 東京都港区港南二丁目16番5号
〒108-8215 電話番号：03-6716-3111
創立 明治17年7月7日
設立 昭和25年1月11日

資本金 265,608百万円
(平成27年9月30日現在)
従業員数 21,027名 連結：80,788名
(平成27年9月30日現在)
ホームページ <http://www.mhi.co.jp>

■ 役員

(平成27年9月30日現在)

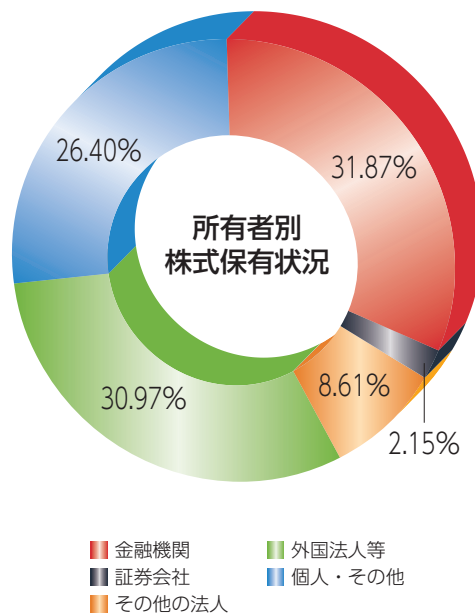
取締役 会長	大宮 英明
*取締役 社長	宮 永 俊 一
*取締役 社長 執行役員	前 川 篤
*取締役 社長 執行役員	鯨 井 洋 一
*取締役 常務 執行役員	水 谷 久 和
*取締役 常務 執行役員	木 村 和 明
*取締役 常務 執行役員	小 口 正 範
取締役	小 島 順 彦
取締役	篠 原 尚 之
取締役 常勤監査等委員	井 須 英 次
取締役 常勤監査等委員	野 島 龍 彦
取締役 監査等委員	畔 柳 信 雄
取締役 監査等委員	クリスティーナ・ アメージャン
取締役 監査等委員	伊 東 信 一 郎

(*印は、代表取締役)

■ 株式の状況

(平成27年9月30日現在)

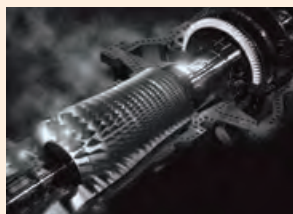
発行可能株式総数 6,000,000,000株
発行済株式総数 3,373,647,813株
株主数 274,572名



● 最近の主なニュースとお知らせ

H-25形ガスタービンの中核機器とする熱併給発電プラントを受注

三菱日立パワーシステムズ(株)(MHPS)は、インド最大の肥料製造会社であるIFFCO社(Indian Farmers Fertiliser Cooperative Limited)から、H-25形ガスタービン、発電機、排熱回収ボイラーなど一式を会社設立後インドでは初めてとなるターンキー契約で受注しました。H-25形ガスタービンは信頼度が高く、メンテナンスがしやすく保守頻度が低いことが特徴で、今回の受注はその優れた性能が高く評価されたことによるものです。



MHPS H-25形ガスタービン

東京都交通局に日暮里・舎人ライナー新型車両を1編成納入

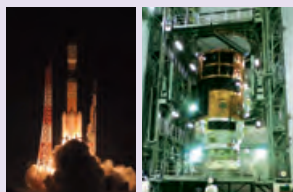
今回の新型車両「330形」は、2014年度グッドデザイン賞を受賞したG-Fitを用いたロングシート配列により輸送力を向上させるとともに、オールダブルスキンアルミ構体を採用するなど既存車両に比べ1両当たり1.5トン近く軽量化を行いました。その結果、シート数は19席、満車輸送人員は99人(いずれも1編成当たり)増やすことに成功し、朝夕ラッシュ時の混雑緩和に貢献します。(営業運転開始:2015年10月)



日暮里・舎人ライナー 新型車両「330形」の外観と室内

H-IIBロケット5号機打上げ成功

8月19日夜、H-IIBロケット5号機が種子島宇宙センターから打ち上げられ、搭載していた宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」5号機(HTV5)を正常に分離しました。その後、HTV5は国際宇宙ステーション(ISS)にドッキングし、食料等の宇宙飛行士の活動に必要な不可欠な補給物資や実験装置を計画通りに届け、9月30日の大気圏再突入をもって全てのミッションを完遂しました。HTVは、世界で唯一の大型物資を輸送できる宇宙船として、ISS運用の根幹を支えています。



「こうのとりのり」5号機(HTV5) 打上げ

米国テキサス州のコンプレッサ工場が稼働を開始

三菱重工コンプレッサ(株)の米国法人が、テキサス州ヒューストン地区のペアランドに建設していた国外初の工場が完成し、稼働を開始しました。巨大市場である北米において、コンプレッサ及び駆動用蒸気タービンの生産から保守・修理までを「ワンストップサービス」で手掛けることで、中長期的に伸びが期待されるオイル&ガス分野やサービス分野事業を拡大し、事業基盤をさらに強化し、グローバル市場での事業展開を強力に推し進めていきます。



米国テキサス州ヒューストン地区ペアランド工場開所式

● 当社施設の紹介～皆様のご来館をお待ちしております～ ●

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、これまで200万人以上のおお客様にご来館いただいております。また、月面資源採掘船の開発に挑戦できる「ミッション・ラボ」の体験者は1万人を突破いたしました。6つのゾーンで参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地: 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内
アクセス: みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分
 JR根岸線/横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

開館時間: 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始及び特定休館日
 (平成27年12月29日(火)～平成28年1月5日(火)、
 2月16日(火)～27日(土))

お問い合わせ: 電話番号 045-200-7351
ホームページ: <http://www.mhi.co.jp/museum/> (臨時休館日等をご確認ください)



三菱みなとみらい技術館ご招待券

見本

有効期限:平成28年3月31日(お一人様一回)
 本券をご持参ください。(同伴者3名様まで有効)
 (本ご招待券で、有料体験プログラムをご利用いただくことはできません)

工場見学会のご案内

第23回工場見学会を下記のとおり長崎造船所（長崎県長崎市）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

- ・見学場所 長崎造船所（長崎県長崎市）
長崎造船所は1857（安政4）年、わが国最初の艦船修理工場「長崎鎔鉄所」として創設され、当社で最も長い歴史を持った工場です。本年7月には、長崎造船所関連の5つの資産が「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界遺産に登録されました。本工場では、LNG船、LPG船など多くの製品を手掛けています。
- ・実施日時 平成28年3月18日（金）
13：00～17：30（予定）
- ・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- ・集合・解散 JR長崎駅（予定）
- ・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



旧木型場（史料館）



第三船渠

応募要領

- ・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。
- ・締切日 平成27年12月31日（木）（当日消印有効）
- ・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。
厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。
その際、当日のスケジュール等詳細を併せてご連絡いたします。
※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。
なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき

52円
切手

1088215

三菱重工業(株)
広報部
工場見学会係

東京都港区港南
一丁目16番5号

あて名面

- 郵便番号
- 住所
- 氏名
(ふりがなをご記入ください。)
- 電話番号
- 性別
- 年齢
- 同伴者の住所、氏名(ふりがな)
電話番号、性別、年齢

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 グループ戦略推進室 広報部 広報グループ
電話番号：03-6716-3111（大代表）
8：45～17：30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………1,000株
- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載
して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<http://www.mhi.co.jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

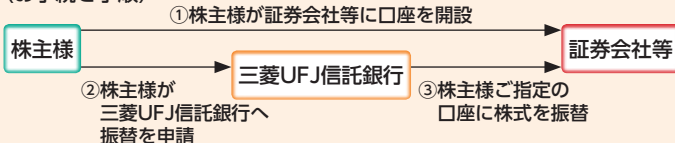
1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いさせていただきます。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行で承ります。

（お手続き手順）



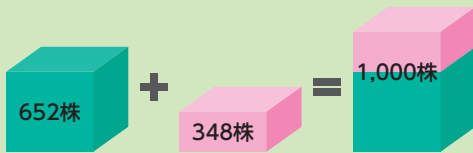
2. 単元未満（1,000株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取り（株主様ご売却）あるいは買増し（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（上記1.（1）及び（2）ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式を併せて1単元株式（1,000株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在652株をご所有の場合、当社を通じて348株をご購入いただき、合計1,000株とすることができます。



3. 「マイナンバー」に関するご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。平成28年1月以降に口座を新たに開設される場合には、証券会社等からご案内がありますので、株主様から証券会社等へマイナンバーをお届出ください。

すでに口座をお持ちの株主様におかれましては、3年の猶予期間が設けられておりますが、詳細につきましては口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

なお、マイナンバー制度及びその利用に関する詳細につきましては、同封の「株式に関する『マイナンバー制度』のご案内」をご参照ください。

ホームページ「株主・投資家の皆様へ」はこちらから、
<http://www.mhi.co.jp/finance/index.html>